

肺がんドック

1. 64列マルチスライスCTによる高度な画像検査
2. 放射線科専門医のダブルチェックによる画像診断

《肺がんドック検査項目》

- ①問診（既往歴、家族歴、職業環境、喫煙状況等）
- ②喀たん検査（3日間集積法）
- ③腫瘍マーカー（SCC・SLX・NSE）
- ④胸部X線検査（正面・側面）
- ⑤胸部CT検査（単純撮影）

料 金 : 36,750 円 （消費税込み）

※当院人間ドックと同時受診の場合も同額となります。

事前予約が必要です。詳しくは下記までお問い合わせください。

◇お問い合わせ先

〒210-0013 川崎市川崎区新川通1番15号

医療法人財団 明徳会 総合新川橋病院 健康管理センター（別館4階）

《直通》 Tel044-222-1237

【予約受付時間】 月～金 午前8:30～午後5:00

土 午前8:30～午後1:00 ※祝日除く

<http://www.shinkawabashi.or.jp>

【肺がんとは？】

1981 年以來、日本の死因の第 1 位は悪性新生物（ガン）となり、その後も増加し続けています。また、どのガンで最も多くの方が亡くなっているのか（原発部位別による死亡数）という点、実は 1998 年以後はそれまでの胃ガンから替わって肺ガンが第 1 位になりました。しかしガンにかかる患者さんの数（罹患〈りかん〉数）は依然として胃ガンのほうが肺ガンより多くなっておりま

す。その理由は、肺ガンは胃ガンより治療が難しい、治しにくいガンだからです。肺ガン発生には、喫煙が最も密接な関係があることは周知のとおりです。



【肺がんの危険因子】

喫煙、加齢（50 歳以上）、家族歴、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患）、喘息、じん肺、特発性間質性肺炎の既往などがあげられます。

とくに喫煙歴は重要で、(1)喫煙開始年齢が 15 歳以下であること、(2)喫煙量が多いことなどで、ますます肺がんを発症する確率が高くなります。また、他人のたばこの煙を慢性的に吸入すること（受動喫煙）も肺がんのリスクとされ、近年、非喫煙女性の肺がんも増加傾向にあります。

《肺がんドック検査項目》

- ①問診 ⇒既往歴・家族歴・職業環境・喫煙状況等
- ②喀たん検査（3 日間集積法）⇒のど（咽頭）より下の気道からの過剰な分泌物が「たん」です。下気道に異常があると、「たん」に異物（細菌・ほこりなど）や細胞（気管支粘膜細胞など）が混じってきます。この検査では、「たん」に混じっている細胞の性質が良性か悪性かを染色してお調べします。
- ③胸部 X 線検査（正面・側面）⇒肺や心臓の状態を知ることができます。肺結核や肺がんなどの早期発見に役立ちます。
- ④腫瘍マーカー検査（SCC・SLX・NSE）⇒肺がん（主に扁平上皮がん・腺がん・肺小細胞がん・神経芽腫瘍）で高値を示します。
- ⑤胸部 CT 検査（単純撮影）⇒胸部 X 線検査では発見しづらかった微小な肺がんを見つけることができます。また、喫煙による肺の変化やその他の肺疾患（肺結核等）の早期発見にも役立ちます。